

2016年度 第21回 東アジア近代史学会研究大会

- ・日程：2016年7月2日（土）～3日（日）
- ・場所：國學院大学（渋谷）120周年記念1号館1103教室
- ・参加費：会員1000円、非会員1500円

第1日目：7月2日（土） 9時30分受付開始 10時00分開会

●自由論題報告（10時10分～14時10分）

イギリス東インド会社による広州貿易制度改編

—1750年代の貿易実態分析から—

藤原敬士氏（日本大学）

日清戦争における新聞記者従軍許可手続

—外国人新聞記者への対応を中心として—

渡邊桂子氏（早稲田大学大学院）

杉山茂丸と児玉神社

馬場宏恵氏（法政大学大学院）

組織論からみた東亜連盟運動

野村乙二郎氏（石原莞爾研究家）

満洲経営をいかに宣伝するか

—満蒙資源館の設置と満蒙学術調査団—

長谷川怜氏（千代田区立日比谷図書文化館）

同仁会と対華文化事業

—1931年の中国大洪水への対応を中心に—

藤田賀久氏（多摩大学）

●ミニ・シンポジウム（14時20分～17時00分）

「第一次世界大戦期の諸問題」

二十一か条要求の原案・改訂案・成案

斎藤聖二氏（茨城キリスト教大学）

寺内正毅関係文書と第一次世界大戦研究

千葉功氏（学習院大学）

“Russia's Great Eurasian War and Revolution: The Mega-Project.”

David Wolff 氏（北海道大学）

◇総合討論 16時20分～17時00分

◇総会 17時00分～17時40分

◇懇親会 18時00分～20時00分（会場：有栖川宮記念ホール）

第2日目：7月3日（日） 10時00分受付開始 10時30分開会

●大会シンポジウム（10時30分～16時40分）

「近年における日清戦争に対する『歴史認識』をめぐって」

◇問題提起 10時30分～10時40分

檜山幸夫氏（中京大学）

◇午前の部 10時40分～12時05分

韓国における日清戦争期朝鮮史研究と特徴—冊封体制と現代韓国の視点から—

原田環氏（県立広島大学）

木村幹氏（神戸大学）

コメンテーター 永島広紀氏（九州大学）

◇午後の部 13時00分～15時00分

中国における甲午戦争120年史研究の背景

川島真氏（東京大学）

台湾における甲午戦争の持つ意義の歩み

若松大祐氏（常葉大学）

日本における日清戦争研究の現段階

大谷正氏（専修大学）

◇コメント・全体討論 15時10分～16時40分

コメンテーター 佐々木揚氏（京都産業大学）、大澤博明氏（熊本大学）

研究大会に関するお問い合わせは下記にお願いします

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 麗澤大学外国語学部 櫻井研究室内 東アジア近代史学会事務局

TEL: 090-9315-8574/FAX04-7173-3403/Email: modern_east_asia_jm@hotmail.co.jp